

東京都交通局

国内初となるバス営業所内水素ステーション

交通局では、水素社会の実現に貢献するため、燃料電池バスを運行しています。これまでも、全国の事業者の中でも最大の75両を導入していましたが、令和6年度にはさらに5両を有明営業所に追加し、合計80両となりました。

現在、燃料電池バスは、品川、江戸川、深川、有明の各営業所及び港南、臨海の各支所に配備され、それぞれの路線で運行しています。運行状況は、都バス運行情報サービス（tobus.jp）の車両検索ページでご覧いただけます。



導入している燃料電池バス

燃料電池バスの運行には、安定した水素の供給体制が不可欠です。水素の充填にはステーションへの往復に時間がかかることや、水素ステーションの定期点検時にはバックアップが必要となることなどから、バスに充填できる十分な能力を持つ水素ステーションが営業所の近隣に複数整備されることが必要です。

このような中、燃料電池バスの導入をさらに拡大するためには、営業所内に水素ステーションを整備することが効果的であることから大型設備のためのスペース確保や整備運営手法の検討、補助制度に関する国や関係局等との調整を重ね、有明営業所内に整備することとしました。

水素ステーションの整備・運営には、専門的な技術力等が必要です。公募を通じて、こうした能力を有する事業者から水素の搬入・貯蔵方法や供給能力などについて提案

を受け、令和5年9月に事業者を選定しました。

その後、水素ステーションの整備・運営に係る協定や土地賃貸借契約を締結し、バスの動線を踏まえた水素供給設備の配置などを「水素ステーション整備計画」として策定しました。こうして、令和6年6月に工事を開始し、令和7年4月1日から、国内初となるバス営業所内水素ステーションの運用を開始しています。



有明営業所内水素ステーション



開所式（令和7年3月27日）

東京都交通局経営計画2025では、令和9年度までに燃料電池バスの導入を100両まで拡大する目標を掲げており、こうした取組を通じて、ゼロエミッション東京の実現に貢献してまいります。

＜問い合わせ＞
東京都交通局 自動車部 計画課
電話：03-5320-6178